

魚介類の成育場づくり
藻場再生活動

豊かな海づくり応援ダイブ

再生産サイクルの改善
岩がき増殖活動

《藻場消失と岩がき減少》

かつて大型海藻が卓越していた沿岸域は、近年の磯焼け減少によって消失したとされています。魚介類の産卵場および幼稚魚の成育場となる藻場の消失は水棲生物の減少につながり、漁業に打撃を与えています。岩がきの減少は、シケによる漁場の荒廃、砂による磯場の埋没に加えて、牡蠣の再生サイクルと収穫量のアンバランスや、泥、海藻、他の貝類など別の付着物による幼生付着の阻害、ゴカイやレイシガイによる食害も影響していると考えられています。

一般参加者、スノーケリング、ダイバーによる「豊かな海づくり応援ダイブ」の実施

《課題》

- ・藻場の消失
- ・受精卵、幼生の付着場減少
- ・漁業者の高齢化、後継者不足

《課題解決への取り組み》

- ・一般参加者、スノーケリング、ダイバーによる再生活動
⇒モニタリング／岩盤清掃／母藻設置／外敵駆除
- ・漁業者、学識経験者との連携
⇒用船／水域情報／成熟期判定／技術指導

行政機関／学識経験者

情報提供
連絡調整
支援要請

専門知識／技術支援要請

藻場再生研究クラブ
事務局／潜水作業

一般募集

一般
参加者

参加応募

実施調整

漁業者

協力者増員

資源再生エリア拡大

多年度
活動継続

《目標》

- ・藻場造成距離100m
(20m×3年。40mは中間空白域として自然再生を目指す)
- ・岩がき付着基質 20箇所

応援ダイブスケジュール

応援ダイバー募集中！ 参加費6,300円

《一般参加者作業》
船上からの観察、撮影、水中作業者へのサポート
《水面・水中作業》
スノーケリング、スクーバダイバーによる撮影と藻場保全作業

